

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 5 年 5 月 15 日

公表:令和 5 年 5 月 29 日

事業所名 COCOテラス

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		学習室と活動室に分かれており、法令に基づいて対応できています。	
	2 職員の配置数は適切である	○		法令に基づいて人員を配置し、利用者に応じて増員の対応をしています。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		活動内容に応じて部屋を使い分け、同じ部屋でもパーテーションや床の色で区切っています。また階段には手すりを設けることでバリアフリー化にも配慮しています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		活動内容に応じて部屋をパーテーションや床の色で区切っています。また毎日環境整備という時間を確保し施設の清掃、整理整頓を行っています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		会議を全体会議・療育会議に分けてミーティングや課題検討の場を増やし、随時意見交換を行っています。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		評価表を用いて保護者様より意見を頂戴しています。頂いた意見を基に改善に努めています。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		自社のホームページで評価結果を公表しています。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		他事業所と連携をとり第三者による評価を頂き、業務改善に努めています。	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		社内研修と外部で行われる研修に積極的に参加し知識・技能向上に努めています。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		お子様と保護者様のニーズを正確に把握した後、全職員と共有し様々な意見を基に放課後等デイサービス計画を作成しています。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		初回面談時に基本情報シートという様式を基にお子様の情報提供を頂いています。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		ガイドラインも含め、お子様、保護者様、相談支援員、児童発達支援管理責任者、職員と関わるすべての人の意見を基に個別支援計画を策定し、日々改善に努めています。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		計画に沿った支援を行い、振り返りと改善を繰り返しています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		専門職を含めたすべての職員と話し合いを行い活動プログラムを立案しています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		お子様の状況や段階を踏まえ個別にプログラムを立案しています。また外部講師と提携し各種イベントを実施しています。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	○		個別・集団活動それぞれについて支援方法を検討し、個別支援計画を作成しています。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		支援前に当日の流れやタイムスケジュールを確認し支援を行っています。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		課題や問題点があれば全職員で共有をしています。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		個別支援計画に基づき支援記録を記入しています。見直しや改善に活用しています。	
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的にモニタリングを実施し、保護者様のニーズや中間評価も参考に計画の見直しをしています。		

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が参加し、その後、会議内容を全職員と共有しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		相談支援員、療育センター、他事業所など関係機関各所と連携を図り支援を行っています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		該当者がいなく、未実施です。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		該当者がいなく、未実施です。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保育園、学校等の各関係機関との連携や、事業所との連携会議等に参加しています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保育園、学校等の各関係機関との連携や、事業所との連携会議等に参加しています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		他事業所との連携や療育センターと連携しお子様の情報共有を行っています。研修があれば積極的に参加しています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		左記機関との共同の活動はないが、地域活動の中で子供たちが関わり合い交流を図っています。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		会議や研修には積極的に参加し、地域社会の一員としての自覚を持っています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時や連絡帳、電話連絡、面談等で共通理解を図るよう努めています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	○		相談があれば助言や意見交換を行っています。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		ご契約時に書面と口頭での説明を行い、不明点等があれば随時お伝えしています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		お子様の発達状況、保護者様のニーズを踏まえて、発達の諸項目について目標を設定し計画書を作成します。保護者様への説明と同意を経て実行しています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		相談があれば助言や意見交換を行っています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		現在、父母の会の活動は行っていませんが、要望があれば企画検討していきます。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		ご契約時に重要事項説明書等の説明を通して苦情対応体制を説明しています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		SNSを利用し、活動概要等を保護者様に情報提供をしています。行事予定等は、毎月配布致しております。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報が記載された資料は鍵付きの書庫にて管理をしています。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		視覚支援や分かりやすい文章を用い、時には相談員さんを介して適宜適切な対応をしています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		個人情報の関係で招いてはませんが地域のイベントには積極的に参加しています。	

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各種マニュアルを策定し全職員が迅速に対応できる体制を整えています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		月に一度、お子様と一緒に防災訓練・非常災害訓練を行い周知徹底しています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		服薬に該当するお子様がいるので、職員間での情報共有の徹底を行っています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		ご契約時のアセスメントに依り、必ずお子様のアレルギーの有無を確認し、医師の指示書がある場合は、指示書に基づく対応を行います。お子様毎にアレルギーの一覧表を作成致しております。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ファイルを作成し、職員がいつでも確認できる体制を整えています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		社内研修を行っております。外部研修への参加をし知識・技能向上に努めています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		基本的には「身体拘束を行わない」を基に社内研修を行い、外部の研修に積極的に参加しております。やむをえない場合は保護者様への(説明→了承→同意→実施→記録)を徹底しております。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。